

そせい
塑性加工を変える。

これまでなかった新しいチューブ製品の開発へ

株式会社テクノフレックスの製品を支える技術、その中のひとつが塑性加工技術です。当社のチューブ本体は、塑性加工がベースとなっているからです。これまでの発想になかった、まったく新しいチューブ製品の開発・製造を実現するためには、より進んだ塑性加工技術とその品質管理手法を導入することが求められます。塑性加工技術の進歩が早く、安全性や耐久性、軽量化、安定供給、コスト低減などが常に求められているのが自動車部品業界です。そこで長年の実績と高い評価を持つ株式会社チューブフォーミングは、当社の技術力向上に大きく貢献しています。

ベローズ・フレキ専用の熱処理炉を自社設計

たとえば、当社の主力商品のひとつである管継手の製造にチューブフォーミングのパイプ塑性加工技術を応用することを進めています。従来より軽量で高品質の管継手を作ることが可能になるからです。また、自動車用継手の高度な生産ノウハウを共有することも計画中です。配管継手の加工方法と品質管理をフレキシブルホースに応用するために、生産のロボット化も進めます。また、ベローズ型伸縮管継手とフレキシブルホースの生産ラインには、自社で設計・製作した専用の大型真空熱処理炉を配備しています。当社は研究開発から設計、製造、流通まで、製造工程の全部門をグループ内にそろえ、製販一貫した動きの中で社会やお客様のニーズに対応しています。

Advanced technology
技術の追求



プロペラシャフトの生産現場
FRタイプの自動車に使用されているプロペラシャフト(エンジンから後輪に回転を伝えるパイプ部品)を多種類生産しています(約60,000本/月)



整然とした生産現場
安定した生産と高度な品質は整然とした現場から生まれます